

F J / F 4 関係者 各位

日本F 4 協会
 会長 鈴木 修二
 F J 協会
 会長 神谷誠二郎

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はF J 及びF 4 レースに対し、ご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、本年度のJ S S スカラシップ（F J からF 4 へのスカラシップ奨学制度）ドライバー松本武士（まつもと たけし）選手のF 4 レース参戦のご報告をここにお送りします。

今後とも皆様のあたたかいご声援をお願い申し上げます。 敬具

J S S スカラシップドライバー	松本武士選手のF 4 レース参戦報告
J A F 地方選手権F 4 西日本シリーズ第4戦 大会名 岡山チャレンジカップレース 期 日 2008年 7月 27日 開催場所 岡山国際サーキット 参加台数 15台	

灼熱の第4戦岡山 車もドライバーもレースもますますヒートアップ

F 4 西日本シリーズ第4戦は岡山国際サーキットでの開催で参加台数は15台。J S S スカラシップドライバーの松本武士選手は開幕戦、第2戦と連続優秀したものの第3戦では4位となり、それまで連続2位の小林選手が第3戦で優勝を飾り、ポイント争いは一気に混沌としてきた。また、連続3位から前戦で2位の花岡選手が、ここ岡山に入ると絶好調。F 4 西日本シリーズはますますヒートアップの様相を見せる。

○ 練習走行

金曜の練習走行から晴れ、連日、猛暑が続く中、F 4 のドライバーは元気に練習に励む姿が見られた。そうした中で、調子を上げているのは花岡選手でコンスタントにトップタイムを叩き出している。一方、小林選手も好タイムで走るが、あくまでレースを意識して車の仕上げに専念している様子。今年フォーミュラにステップアップした野尻選手もF 4 マシンに慣れてきた模様で、やはり好タイムを出している。松本選手は前回の第3戦時点より気温の上昇と共に苦しい展開で、前回のオーバーステア対策として仕様を変えて臨んだが、今度はアンターステアが強く、トップ5に入れるどうかのタイムである。

○ 公式予選 7月 27日

天候は薄雲。予選は9時50分から15分間で行われた。コースオープンになると小林選手を先頭に続々とコースインしていく。いつも先頭を切ってコースインする花岡選手はスタンバイでタイミングを見計らっている。3番目にコースインした松本選手だがトップで戻って来る。まずはタイミングモニターの一番上にタイムが出るが、それも長くは続かず次の周回までに3番手に落ち、その後、各車が周回を重ねる度に順位が落ちていく展開だ。予想どおり小林選手が1分32秒台に入れてトップタイムを出す。やがて2周遅れでコースインした花岡選手が松本選手を追うようにタイムアタックを行い、32秒57

を叩き出してトップに踊り出る。続いて廣田選手が32秒78で小林選手を下して2位に上がる。終盤、タイムアタックを切り上げる車が増える中、松本選手は最後までアタックを続けるが6周目に出した33秒23を上回ることが出来ずトップから0.663秒差、7位で予選を終えた。

予選結果

Pos	No.	Name	Model	Car Name/Team	Time
1	26	花岡 翔太	WEST006	プラスK☆アキランド☆イーグルスポーツ	1'32.572
2	63	廣田 秀機	WEST006	ピカデリーサーカス 006 TH	1'32.784
3	11	小林 祐輔	WEST006	エーワン大井松田KL006	1'32.814
4	33	伊藤 善博	WEST006	bit-style 制動屋 006	1'32.8877
5	8	下垣 和也	WEST006	SOUEISHA 056	1'33.095
6	88	野尻 智紀	WEST006	オートボックス006サクシード	1'33.209
7	22	松本 武士	WEST056	JSS・nutec☆プロバイル/ギディ	1'33.235

○決勝レース

晴れ間の空に時折、黒い雲が空を覆う。しかし降り出すことはなく路面はドライ。蒸し暑い1日となった。赤シグナルが消えるとストールする車も無く全車好スタートを切った。ポールスタートの花岡選手を先頭に1コーナーになだれ込むが、そうした中、予選9位スタートの増田選手が猛然と加速し、松本選手も交わし6番手で1コーナーに入る。混雑の中で赤鮫選手がスピンして危険に思われた場面もあったが、誰も当たることなく1コーナーをクリア、同選手もレースに復帰していく。

1周目は花岡、廣田、小林、下垣、伊藤、増田、7位松本選手の順で通過。3位の小林選手の攻防を交わしていた2位の廣田選手だが、大混戦の続く中、順位を落としていく。一方、増田選手のペースは速く、すぐに伊藤を捕らえて5位に上がると、下垣、廣田選手も下して3位にまで順位を上げた。

松本選手はアンダーステアに苦しみペースが上がらないが、前を走る伊藤選手はヘアピンで下垣選手のインに飛び込み順位を上げる。しかし、松本選手は同様に追い越しをかけたがペースを上げられず、下垣選手の後塵を拝する形で6位を走る。

L7、先頭の花岡選手はリードを広げるが、3位を走る好調の増田選手にフライングのペナルティが課されピットイン。一気に順位を落とすことになる。

苦しむ松本選手は後半に入るとリアタイヤのタレと同時にアンダーステアが解消されてペースが上がってくる。そして下垣選手を下して4位に上がると、一旦、大きく離された3位伊藤選手を追う。

終盤、花岡、小林、伊藤選手の間隔は大きく離れるが、ペースを取り戻した松本選手は先頭と同タイムで伊藤選手に迫り上げる、しかし、残る周回数が足りず1.2秒差まで追いついたところでチェッカーとなった。7位の予選からは順位を上げたのだが表彰台には一步届かなかった。

今週、終始好調だった花岡選手がブッチギリで初優勝、小林選手が2位、そして伊藤選手が3位を得た。

3人目の勝者が出たことで、西日本シリーズのポイント争いは一層、激しさを増すこととなった。

決勝結果

Pos	No.	Name	Model	Car Name/Team	Lap	Time
1	26	花岡 翔太	WEST006	プラスK☆アキランド☆イーグルスポーツ	15	23'25.502
2	11	小林 祐輔	WEST006	エーワン大井松田KL006	15	23'36.951
3	33	伊藤 善博	WEST006	bit-style 制動屋 006	15	23'44.970
4	22	松本 武士	WEST056	JSS*nutec☆プロバイル	15	23'46.188
5	88	野尻 智紀	WEST006	オートボックス006サクシード	15	23'53.866
6	7	渡邊 圭介	WEST956	Fグランドメゾソルブティック	15	23'58.350

以上